

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市教育委員会では SDGs 教育を推進しています。



さいたま市立

東宮下小学校



1 「かしこく・やさしく・たくましく・一生懸命に」を学校教育目標に、『豊かな心を持ち、互いに認め合う児童の育成』を推進しています。

2 見沼の豊かな自然環境を生かし、地域での体験活動の重視した教育活動を推進しています。



■所在地：さいたま市見沼区東宮下 215 番地 1

■電話：048-685-3652

■FAX：048-685-5119

■交通：東武アーバンパークライン七里駅徒歩 30 分

01 地域の米作りから学ぶ

田植えから稲刈り、そして秋祭りに至るまでの体験活動へ



校区に広がる見沼たんぼの一部をお借りし、地域の農家の協力を得て、「学校ふれあい田」として、全学年で春には田植え、秋には稲刈り、そして収穫した米を活用した秋祭り「宮下まつり」を企画・体験する活動を行っている。



春、1 学年児童は、田んぼの泥に苦戦しながら上級生の手助けもあって、稲の苗を植える。学年が上がるごとに田植えの手つきや、稲刈りの鎌の扱いに慣れ、6 学年ともなると友達と協力しながら、あっという間に田に実った稲穂を収穫していく。

また、5 学年では、総合的な学習の時間のテーマを、「これからも米作りを続けていくためには～東宮下米づくりを通して～」とし、地域の米作りについて調査・研究した内容を秋の「宮下まつり」内において、発表している。

02 西洋野菜作りから学ぶ

キャリア教育の視点から、児童の「自立」につながる活動へ



6 学年の職業体験を通じて、会社づくりから利益の運用までの流れを知り、社会人として必要な資質・



能力を身に付けることができるように「西洋野菜づくりと販売の工夫」を取り上げ、学習を進めている。

さいたま市内の種苗会社から無償で苗を供出していただき、地域連携コーディネーターを通じて連携を図りながら、学級担任が、地域の企業の力を借りて学習を進めている。

児童は、実際に学校畑で西洋野菜を植えて育てている。害虫が発生しても、農薬を使わずに育てる難しさを実感したり、水はけを良くするための側溝づくりや、防風ネットを張るなどの工夫を学んだりしている。また、実際に働く方の話を聞く中で販売の工夫を学び、収穫した野菜を実際に販売し、学校に還元していく等の働く喜びを実感させる活動を行っている。